

OP戦を行いました！

4/30 対 ダイクレ ・ 広島フェニックス

5/1 対 品川リフラクトリーズ

2022年4月30日（土）・5月1日（日）の2日間にかけてOP戦を合計4試合行いました。

4月30日のダイクレ戦は3回の攻撃。1アウト1塁から竹元がレフトへホームランを放ち2点を先制しました。

続く回には、吉田が四球を選びチャンスメイクをすると、宮本がタイムリー3ベースヒットを放ち追加点を奪いました。

その後も、平が打点をあげるなど終始攻撃の手を緩めることなく、守備面でも先発延近が9回を安定して投げ切り、4 - 1で勝利しました。

続く広島フェニックス戦は、初回1点を先制して迎えた2回、打線が繋がりを見せるなど打者一巡の攻撃で一挙6点を奪い、序盤に試合を決定付けました。

7回には、相手のエラーで更に追加点を奪い、8 - 0のスコアで勝利しました。

翌日、品川リフラクトリーズ戦の1試合目は、息詰まる投手戦となりました。

この日先発の平は、危なげない投球を終始披露して9回3安打無失点と好投しました。

一方の攻撃は初回、遠目塚のヒットと中川の四球でチャンスを作るものの、あと一本が出せず、得点を奪えませんでした。

その後も相手投手を前に、チャンスを作れず迎えた最終回の攻撃。3つの四死球で2死満塁のサヨナラの場面を作ると、ここまで好投の平が打席に向かいました。この打席は、2ストライクと追い込まれながらも、3球目をきっちりと捉えた打球は、左中間へのヒットとなり、自らのバットでサヨナラ勝ちを手に入れました。

午後からの試合も1試合目同様に均衡した試合展開となりました。

チャンスは6回、島袋の2ベースヒットと武田の送りバントでチャンスを広げると、続く打者の平がエンドランをきっちりと成功させて1点を先制しました。

この1点をバッテリー中心に守り抜き、1 - 0で勝利しました。

公式戦予定

5月7日（土）

国民体育大会広島県一次予選

第2試合目 対 シードチーム（広島ガス） - 西部地区代表 負けチーム

第3試合目 対 シードチーム（広島ガス） - 西部地区代表 勝ちチーム

場所：三次市営球場

結 果

4月30日（土）

1試合目

対 ダイクレ 4 - 1 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
小泉病院	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4
ダイクレ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

バッテリー：延近 - 竹元

3塁打：宮本（4回） 本塁打：竹元（3回）

2試合目

対 広島フェニックス 8 - 0 ○

	1	2	3	4	5	6	7	合計
小泉病院	1	6	0	0	0	0	1	8
フェニックス	0	0	0	0	0	0	0	0

（7回コールドゲーム）

バッテリー：笹川 - 竹元

3塁打：竹元（2回）

5月1日（日）

対 品川リフラクトリーズ

1試合目 1× - 0 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
品川リフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小泉病院	0	0	0	0	0	0	0	0	1×	1×

バッテリー：平 - 竹元

2試合目 1 - 0 ○

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
小泉病院	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
品川リフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

バッテリー：笹川（1 - 7回）・延近（8 - 9回） - 竹元

2塁打：島袋（6回）

◎ フォトギャラリー



👉 9回を安定した投球で投げ切った延近選手（背番号16 投手）



👉 スタメン出場で活躍を見せる吉田選手（背番号4 内・外野手）



👉ここ最近、野手での出場が増える元川選手（背番号21 投手）



👉安打を放ち、いいアピールを続ける橋本選手（背番号12 捕手・内野手）



👉初スタメン、尾首選手（背番号15 内野手）



👉3塁打を放つなど、活躍をみせた宮本選手（背番号10 外野手）